

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館報編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館

〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp



相澤忠洋を学ぶ 高齢者大学開講



▲待望の高齢者大学が開講

ぐんま未来大学ホールP
A L (笠懸野文化ホール)
で、7月14日(火)に令和8年
度みどり市笠懸地域高齢者
大学が開講となりました。
開講式のあと「相澤忠洋
その人となり」と題し、相
澤さんの生涯にわたる考古
学への思い入れを、岩宿博
物館の学芸員・小菅将夫さ
んが講演しました。
相澤さんは1926(大
正15)年東京生まれ。幼い
頃から考古学に関心を寄せ
ていたといえます。45(昭
和20)年、太平洋戦争が終
結。桐生の父親宅に復員し
たのち、岩宿遺跡周辺の調
査を始めたようです。
そして、46(昭和21)
年、岩宿遺跡の切通しの関
東ローム層の中に黒曜石片
を発見。その後、49(昭和
24)年、槍先形尖頭器を発
見したことで、旧石器時代
の存在を確信したといいま
す。そして、岩宿遺跡を杉
原、芹沢、岡本、相澤、堀
越、加藤の6人で発掘し、
旧石器時代を証明しました。
「日本のあけぼの」と称さ
れ、東京・弥生町、大森貝

塚、岩宿遺跡等が日本の古
代史を塗り替えたと言われ
ています。

その後、群馬県内の遺跡
の調査を手がけ、58(昭和
33)年、西鹿田中島遺跡
(みどり市)を発掘、縄文
時代草創期の爪形文土器が
発見されています。

相澤さんの功績は計り知
れません。67(昭和42)
年、第1回吉川英治賞を受
賞。69(昭和44)年、著書
『「岩宿」の発見』を講談
社から刊行しています。

89(平成元)年、62歳で
逝去。2022(令和4)
年、妻の千恵子氏から「相
澤忠洋資料」約4万5千点
が一括でみどり市に寄贈さ
れています。

「貧しい生活の中で、自
分の意志を強く持って、た
ゆまぬ努力で考古学を研究
し、偉大な功績を残した相
澤さんでした」と話を締め
くくりました。



夏の公民館で学びと体験



夏休み、笠懸公民館には子どもたちの元気な声が響き渡りました。自習に励む姿や、絵筆・包丁を持つ真剣な眼差し。学びと発見に満ちた活気あふれる現場の様子をレポートします。

夏休みの

思い出を調理！



7月18日(出)、小学生を対象とした「おもしろ楽しい料理教室」が開催されました。

夏休み初日、共催の「子どもの居場所づくり・とまり木」のメンバーや、高校生ボランティアたちの協力のもと、24人が参加しまし



▲上手にできるかな？

た。

メニューは「揚げないチキンとポテト」や「豆腐わらび餅パフエ」など、健康への工夫が詰まった4品。食材の名前や栄養、そして包丁の正しい使い方も教わりました。

三角巾にエプロン姿の子どもたちは、真剣な表情でとり肉に片栗粉をまぶしてオーブンに入れたりし、約2時間の料理を楽しみました。

参加者からは「包丁を使うのは緊張したけれど、上手に切れて嬉しい」といった喜びの声も聞かれ、最後は丁寧に盛り付けた料理をみんなで美味しくいただきました。

※この教室は、8月8日(出)にも参加者を変えて開催しました。

地域の拠点で涼しく集中



▲やる気スイッチON

夏休みが始まってすぐ、7月21日(火)・24日(金)、28日(火)・31日(金)、子どもたちの学習支援を目的とした「こみんかんデスタディ」を

個性光る力作
絵画教室開催

毎年恒例の絵画教室が、7月25日(土)・26日(日)に開かれました。講師は富弘美術館学芸員の桑原みさ子さんで、24人の小学生が参加しました。

桑原さんから「明るい色から塗る」などのコツを教

開催しました。(延参加人数は161人)

涼しく快適な2階視聴覚室を自習室として小中学生に開放する企画で、開催に合わせて学習支援ボランティアを募集。高校生から教職経験者まで、幅広い世代が子どもたちの自習をサポートしてくれました。

初日から参加した子どもからは「涼しくて集中できる」「わからないところを教えてもらえる」などの声が寄せられました。

夏休みの宿題にノート20ページ分の漢字書取りが出ているという小学生は、夏

わり、子どもたちは一筆ずつ丁寧に色を重ねていました。題材はポスターや絵など様々。特にクワガタムシとカブトムシの絵が人気でした。

色の組み合わせや塗り方に苦戦する場面も見られましたが、講師のアドバイスを受けながら、それぞれが満足のいく作品を完成させていました。

参加者は小学1年生から

休みが始まったばかりというのにすでに6ページも終えていました。

年々温暖化が続く昨今、35℃以上の日は「猛暑日」でしたが、今年からは40℃以上を指す「酷暑日」という気象用語まで制定されました。

笠懸公民館は「ぐんまクールシェア2026」の取り組みにも参加し、1階交流ロビーを「クールシェアスポット」として広く開放。「学び・交流・安心」の場を提供しています。



▲夢中でぬりぬり

6年生までの児童で、学年や学校を超えて活動できたことは、この教室ならではの貴重な交流の機会になりました。

地域と歩む公民館 時代に即した運営を

みどり市公民館運営審議会（公運審）の委嘱式と第1回審議会が、7月28日（火）に多世代交流館（大間々公民館）で開催されました。

公運審は、公民館のあり方や地域との関わりを協議する重要な機関です。

委嘱式では、委員18人を代表して関口郁雄委員に福島徹也社会教育課長（教育長代理）から委嘱状が交付



▲公運審活動開始

い」と着任の挨拶を述べました。

今期の大きな柱は、利用ルールの見直しです。長年運用してきた「市内利用者7割以上」という規定が、新規サークルの結成や、市外の友人を誘う際の障壁となっている現状が報告されました。

今後は笠懸・大間々・東の各部会で、時代に即した柔軟なルール作りを目指し、協議を重ねていく予定です。



コラム 豆電球



『溶けにくい氷を 作るには?』

暑い季節には氷の出番もぐんと増えるものだ。お酒にはもちろん、アイスコーヒーをつくったり、そうめんを冷やしたりできる。

ところが、暑いからこそ氷が必要なのに、暑さのせいですぐ溶ける。何かいい手はないだろう

か?それには沸騰した水を凍らせる、という方法がおすすめだ。

一度沸騰させた水を30℃ぐらいまで冷ましたあと、製氷皿に入れて冷凍庫へ。こうすると溶けにくい氷ができるようだ。こうして作った氷は、水道水を直接凍らせたものより20分は長くもつそうだ。

その理由は、沸騰によって水分中の空気が抜けたため。水の密度が高くなつて、溶けにくい氷となつたわけ

だ。塩を使っても氷は溶けにくくなるが、飲み物や食べ物に塩分が移ってはまずいだろう。

その点、沸騰したあとの氷なら味もいし透明度も高い。おまけに溶けにくいとあって、一石三鳥の氷になる。ちょっと手をかけた水道水なので、お店で買ってきたロック氷までにはならないが、家計の助けにはなりそう

かっこいいね! 働くくるま



ベビーキッズクラブは7月17日(金)に桐生みどり消防署へ見学に行きました。

6組の親子が参加。消防士の仕事内容や、子どもがあめを喉に詰まらせた時、けいれんを起こした時の対処方法を学び、お母さんたちは真剣に聴いていました。子どもたちは大好きな消防車や救急車を間近に見て、さわって、乗って、笑顔で写真、ハイポーズ!!

親子は消防服の着替えの早業に拍手したり、はしご車の高さにびっくりしたり、めったにできない体験に大喜び。

子どもたちの中に未来の消防士がいるかも!?



▲空まで届け!



▲高さにびっくり 😊

準備着々 企画広報部会



笠懸地域文化祭の第5回企画広報部会が7月23日(木)に開催されました。

今回は、これまでの協議内容の確認とともに、今後の日程案が次の通り決定しました。

9月9日(木)にポスター選考会および企画広報部会。同29日(火)に第2回実行委員会を開催。10月4日(日)からのぼり旗とポスターの掲示を開始します。

今年はみどり市市制20周年という節目の年です。記念の年にふさわしい文化祭となるよう、企画広報部会において、具体的な準備が進められています。



1区
7月11日



2区
7月25日



3区
7月26日



4区
7月11日



5区
7月19日

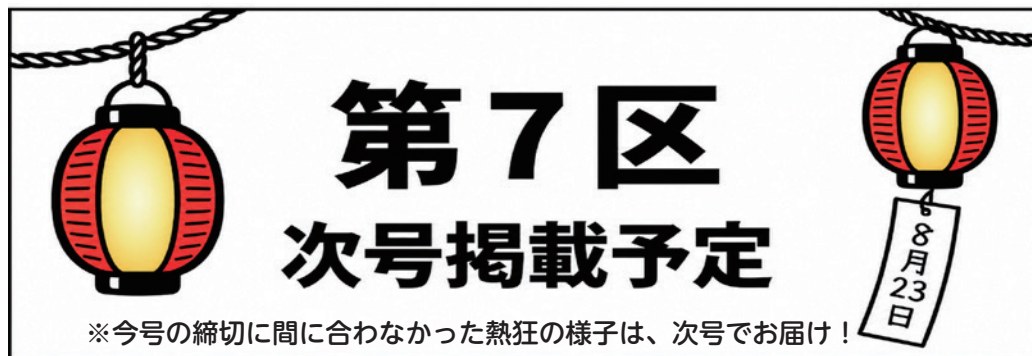


笑顔咲く

伝統繋ぐ

地域の輪

大盛況・各区納涼祭！7月11日(土)～8月23日(日)



午後のひととき

ピアノと歌声で魅了

第136回いこいの広場が7月18日(土)に、笠懸公民館1階ロビーで開催されました。

今回は、高校時代からの友人2人が結成した「シルバートラウム」による、ピアノと声楽(メゾソプラノ)のデュオ。ピアノ演奏は岡部唯さん(みどり市出身)、メゾソプラノは柳澤玖紀さんです。

曲目はシューベルトの「野ばら」、ドビュッシーの「月の光」、ショパンの「子犬のワルツ」、美空ひ



▲心地よい調べに、拍手喝采

ばりの「川の流れるように」など、全11曲を披露。心地よく流れるピアノの調べと、透き通ったメゾソプラノの歌声に、観客からは大きな拍手が送られました。

モーツァルトの「トルコ行進曲」では、ジャズ調にアレンジされた美しい旋律が響きました。アンコールの声にも応え、もう一度2人の素晴らしいハーモニーを聞くことができました。

防災を考える

68

防災の日・防災週間

今年の「防災の日」は9月1日、防災週間は8月30日から9月5日まで。1923(大正12)年の関東大震災を教訓に制定されたものです。

今年(令和8年)熊本地震が発生。さらに私たちの住むみどり市周辺でも先日、線状降水帯による記録的な大雨に見舞われました。警戒レベル4の「避難指示」や土砂災害警戒情報が発表され、市内でも床上・床下浸水の被害が出たことは記憶に新しいところです。災害はいつ起こるかわか

りません。一人ひとりが防災・減災を「自分事」として捉え、この防災の日・防災週間の機に、家族や地域で「何をすべきか」を話し合い、日頃からの備えを万全にしておきましょう。

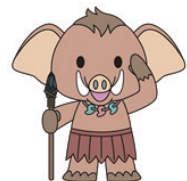


【日程・内容】

みどり市市民講座

みどり市 20歳の再発見

～健やかな体、豊かな土、愛すべき郷土を次世代へ～



みどモス

こどもと関わる全ての人へ！ 子育ての魅力と環境づくり	
① 10/4(日) 14:30～	講師：ぐんま保育士就職支援センターキャリアアドバイザー 森 静子 氏
最期まで目一杯、この街で。 ～子供たちに誇れる「生き切る姿」を～	
② 10/21(水) 19:00～	講師：あのよ～エンターテイメント 萬田 緑平 氏 & 介護亭 榮珍 氏
食べて、歩いて、再発見！ みどり市の魅力体験バスツアー	
③ 11/15(日) 9:30～	場所：浅原体験村(そば打ち体験)、小平の里周辺、岩宿博物館 ※昼食代自己負担(1700円)
健やかな体でいるために！ 化学で学ぶ食と健康	
④ 12/3(木) 19:00～	講師：群馬大学副学長 板橋 英之 氏

◇会場

◇対象

◇募集

◇受講費

◇申込・問合せ

笠懸公民館 交流ホール、他

みどり市在住・在勤・在学の方

☆親子での参加大歓迎

第3講座 22人、他 100人(先着順)

無料(※第3講のみ昼食代1700円)

笠懸公民館

Tel: 0277(76)2211

Mail: kouminkan@city.midori.gunma.jp

※受講希望の講座・氏名・住所電話番号・年代をお知らせください。

※受付時間 午前9時～午後5時(月曜休館)

※申込期間 9月4日(金)から各講座1週間前まで

主催 笠懸公民館・みどり市市民講座運営委員会

こえの ひろば

上毛かるた③

御朱印レディー

老農 船津傳次平

船津傳次平は、富士見村（現前橋市）で寺子屋を開く農家に生まれました。農務省の農事巡回教師となり、農業の改良指導や講演などをしました。また、太陽暦耕作一覽を作り、農作業の時期が分かるようにし、農民に喜ばれました。

明治の日本の三老農（奈良県の中村直三、香川県の奈良専二）として讃えられています。

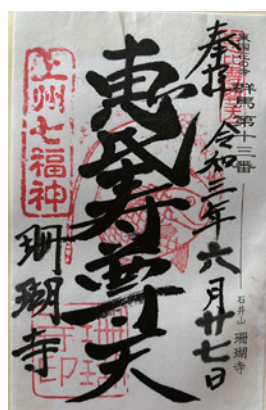
老農とは、農業技術の改良や普及に努めた優れた農

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。（しめきり毎月10日）

業指導者のことを言います。赤城山の南面に傳次平が植えた30万本の松の苗は、今、森となつて私たちを見つめています。

富士見支所の松の木の下に傳次平の立派な銅像が立っています。近くには傳次平のお墓もあり、供養されています。

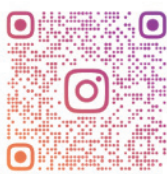
赤城山の中腹に建つ花の寺、珊瑚寺。桜をはじめとする四季折々の豊かな自然に恵まれ、東国花の寺百ヶ寺、上州七福神恵比寿尊天霊場のお寺です。秋には彼岸花や秋海棠が見頃を迎えます。境内には「珊瑚寺七不思議」などの歴史スポットもあります。



▲珊瑚寺の御朱印

笠懸公民館 SNS紹介

Instagram



@KASAKAKEKOUINKAN

YouTube



列車にゆられて(80)

JR水郡線

野利 哲

JR水郡線は茨城県の水戸市から福島県の郡山市を結ぶ142.4kmと上菅谷から常陸太田を繋ぐ9.5kmの路線からなります。郡山駅を発つと安積永盛駅まで東北本線上进行き、安積永盛から水郡線となり左に進路を変え、八溝山地に向かつて丘陵地帯を走ります。長閑な田園風景に溶



▲水郡線 (E130系)

け込むように、ひたすらE130系の気動車は走ります。約50分で磐城石川に着きます。大きな町です。駅から少し歩けば石都都古和気神社です。ここに石川城跡があり、参拝者が絶えません。

浅川町は花火の里で知られています。標高407mの城山から浅川町を俯瞰すれば、素晴らしい光景に出会うでしょう。

棚倉町は落ち着いた街ですね。棚倉城址や赤館城址、山本不動尊など訪ねたいですね。

郡山から約1時間50分で常陸太田に着きます。大きな町で、駅前には旧足尾線で走っていた蒸気機関車C12形187号機が広場に保存されていました。近くに袋田の滝や八溝山（標高1021m）や月居山、男体山などがあり、観光地として賑わいを見せています。ここから久慈川に沿って線路は南下します。西金駅あたりまで、久慈川の流れを右に左に見ての車窓は楽しいですね。支線の分岐駅上



▲廃止前の日立電鉄

菅谷駅に着きました。ここから約15分で常陸太田駅となり何度か来ています。JR常陸太田駅のすぐ前にかつての日立電鉄の駅舎があり、大甕駅を経て鮎川までの18.4kmを走っていました。数回写真撮影で訪れましたが、残念ながら2005（平成17）年4月1日、近在の高校の生徒会が中心となり廃止反対運動を展開しましたが、線路は外されてしまいました。上菅谷駅から水戸まで住宅地を走ります。水戸城の外堀跡を抜けると終点の水戸です。約3時間半の旅でした。

かさかけ

どうぶつ家族⁽³¹⁾

モカちゃん (7区)

犬にとって毎日の散歩は健康維持やストレス発散、さらに人とのコミュニケーションを深めるために欠かせない大切な時間です。

モカちゃん(10歳)も毎日欠かさず散歩しています。雨の日は外周を屋根に覆われた近隣の運動施設まで車で出かけて散歩します。



▲マロくん(左)&モカちゃん (右)

「モカの存在が人と人との輪を繋いでくれ、たくさんの幸せを日々貰っています」とママさんは言います。モカちゃんは今日も大好きな散歩を楽しみながら、たくさん笑顔と幸せを運んでいます。



他にもお気に入りの鹿田山フットパスや数多くの散歩コースでどんな犬とも仲良くなれるので、モカちゃんはとても顔が広いです。元々おっとりした性格で減多に吠えなかったのですが、3年前にパートナーのマロ(享年6歳)くんが亡くなると、以前よりしつかりしだして、ときには吠えて自分の気持ちを伝えるようになりしました。散歩中に多くの人たちと顔なじみになり、畑で採れた野菜をお裾分けしてもらうこともあります。

笠懸短歌サークル

七月例会より



酷暑日に朝から使ふエアコンは罪悪感より体調重視

夏まつり八木節をどり始めれば裏方までも列に入りくる

あぢさゐの白き花びらイヤリング我がうつしゑに時を偲びぬ

抜き捨てし草々枯るるふりもなくあれからいく日けふも雨降る

健やかと言ふには遠き我なれど日々安らかにつましく生きる

上村 征子
加藤 康子
久保田茂子
関口 定夫
平山 勇

ちよつと一息



鉄道の乗り歩きを趣味として時々出歩いていきます。

最近、山形鉄道、フラワ―長井線に乗ってきました。長井線は奥羽本線の赤湯駅から白鷹町の荒砥駅までの30・5kmを結んでいます。沿線には鉄道遺産や歴史的建造物などが多数あり、飽きさせません。

もう一つの楽しみは地元の人々の会話を耳にすることです。列車のレールを刻む音と人々のおしゃべりが融合する中、車

窓の景色と相まって旅の醍醐味を醸し出してくれます。

熊野大社は宮内駅から徒歩15分。806(大同年)年、平城天皇の勅命により再建されたという羽前成田駅は1922(大正11)年12月開業。当時の建物が登録有形文化財として保存され、また、駅舎の前にある防雪林と共に歴史の証人として息づいているようです。こうして、未知との遭遇を楽しみながら旅をしています。1枚のキップを手に握りしめながら。

(余)

あなたも家族(ペット)を紹介しませんか!?

募集対象 犬・猫・小動物など、どんな種類の動物でもOK※品種や飼い主名等は掲載しません。

【留意点】

- ・編集協力員による対面取材後に、紙面へ掲載します。
- ・次号以降のお友達の家族(ペット)の紹介にご協力ください。
- ・在住区域(行政区等)を掲載させていただきます。

【応募方法】

飼い主の氏名・連絡先・家族(ペット)の情報を電話またはメールで笠懸公民館までお伝えください。

☎ 0277 (76) 2211

✉ kouminkan@city.midori.gunma.jp



QRコード